

# 北杜市の担当者と組合事業について 意見交換会を実施

● 北杜市環境事業協同組合

TOPICS

北杜市環境事業協同組合(篠原充理事長 組合員10社)では、8月23日に北杜市役所生活環境部環境課の担当職員と意見交換会を実施した。この意見交換会には、組合からは篠原理事長と興石事務局長が、市役所からは中山環境課長に加えて担当者2名が出席、中央会もオブザーバーとして同席した。



意見交換会

当組合は、北巨摩郡の8町村が北杜市として合併した際に、それまで町村ごとに異なっていた住民が排出する一般廃棄物の処理方法を一本化するため平成18年

に設立され、共同受注に取り組んできた。北杜市から委託を受けている生活系一般廃棄物処理業務も10年が経過したことから、これまでの事業経過と今後の環境行政への協力のために、今回行政との意見交換を行う運びとなった。

組合からは、過去10年間における一般廃棄物の品目別排出量の推移と収集・運搬業務に関する現状の課題等の説明がされ、中央会からも、組合法と組合制度、官公需適格組合証明の意義等について補足説明を行った。市の担当者からは、「北杜市の一般廃棄物処理計画は平成33年度末までに見直すことになっており、それに向けてだけでなく、日頃のごみの削減や再資源化の推進のために事業者の専門的な知見を活かしていきたい。そのためにこうした意見交換などを定期的の実施したい。」との意見が出された。



組合員による収集運搬の様子

篠原理事長は、「我々は、市の行政事業の一部を委託されているのだという責任と自覚をもって仕事に取り組んでいるが、廃棄物の削減や再資源化のためには地域住民の一層の理解と協力が必要であり、これからも行政と連携を深めて業務の効率化に取り組んでいきたい。そのために意見交換や情報交換を定期的に行い、組合員業務の質的向上にも努めていきたい。」と締めくくった。